



正門より(5月1日)

木葉小便り

令和5年5月9日(火)発行
文責 校長 吉野 新吾

こんな学校・子供に!(めざす学校、めざす児童)

令和4年度の反省からの課題をもとに、本年度の「学校教育目標」を設定しました。R4の「豊かに学ぶ」から、R5は“心”を入れた「心豊かに学ぶ木葉の子」としました。

〈学校教育目標〉

自他を大切にし、心豊かに学ぶ木葉の子

めざす学校像 「学校とは、子供が賢くなり、自信のつくところでなければならない」



めざす児童像(児童につけたい資質・能力)

- 1 主体性:責任を持ち、自分で考動する子供
- 2 協働性:自他を大切にし、仲間と協力する子供
- 3 規範性:約束やルールを守る子供



木葉小学校の課題

- 特別支援教育の取組・啓発
- 友達への思いやり(折り合いをつける力)
- ろうか歩行、トイレのスリッパ並べ、無言そうじ
- 校外(地域)でのあいさつ
- 上級生のリーダーシップ
- 自分の考えや思いを表現する力(語彙力の向上)
- 高学年算数科の伸び悩み

「防犯パトロール会議」の再スタート

4月12日(水)3年ぶりの「防犯パトロール会議」を行いました。昨年度は、コロナ禍により開催できず、体制づくりや把握に大変苦勞しました。保護者として参加していた15年ほど前とは、老人会をはじめ地域の状況も変化していると感じました。そんな中で、沢山の大人たちが子供たちの安全のために集まってくれることを本当にありがたく思いました。夜の会でしたが、沢山参加してくれた本校職員にも校長として本当にうれしく感じました。感謝、感謝です。



見守り等を通して地域の方々と子供たちが顔見知りとなり、より身近な頼りがいのある存在となります。また、学校や子供たちに関わることで地域の方々同士の交流も生まれ、その広がりが結果的に学校の安全を地域で見守る街づくりにつながると考えます。お世話になります。



保護者や地域の声を聞くことができました



各地区に分かれての話し合い